



＜令和2年度 受講者募集＞



佐賀県立図書館 古文書講座

～古文書を読み、佐賀の歴史や文化を知る楽しさを味わってみませんか～

佐賀に残された古文書は、私たちが暮らす地域の歴史と文化を知る手がかりとなる大切な文化遺産です。県立図書館では古文書をご自身で読み解くための手助けとして古文書講座を開催します。多くの皆さんのご応募をお待ちしています。

*受講料は無料。会場は県立図書館です

*荒天等で中止した場合は補講をおこなうことがあります

講座 初級・中級・応用編

*習熟度に応じてステップアップできるよう4つの講座を設けています。

*申込み多数の場合は、初めて申し込む方を優先の上抽選となります。

初級編「はじめての古文書～基礎のキソ～」(全15回・定員42名)

対 象 はじめて古文書を学ぶ方(過去の受講歴は2回まで)

講 師 当館職員

開催日 5月から翌年1月までの第1・3土曜日(5/2、8/15、1/2は休み)

時 間 10時～11時30分

内 容

毛筆で書かれたくずし字を読むために必要な基礎知識を学びます(漢字のくずし方や変体
がなの読み方など)。また古文書に特有の返読^{へんどく}や候文^{そうろうぶん}の読み方についても学びます。それ
ほど字がくずれていない短めの文章の古文書をゆっくりと読んでいきますので、

はじめて古文書のくずし字に触れる方も安心してご参加ください。

*受講料は無料ですが2～3千円程度のテキスト(出版物)の購入をお願いします

1回 ➡ 2回に
変更しました!

中級編「佐賀の古文書を読んでみよう」(全15回・定員42名)

対 象 初級編を修了した方、または同程度学ばれた方(過去の受講歴は2回まで)

講 師 当館職員

開催日 5月から12月までの第2・4土曜日(11/14は休み)

時 間 10時～11時30分

1回 ➡ 2回に
変更しました!

内 容

初級編で学んだ基礎知識を生かして、少しずつ佐賀の古文書の世界に足を踏み入れてみませんか。昨年に引き続き、佐賀藩などの役所で書かれた文書を読んでいます。

佐賀城へ奉公に上がる女性たちが出した「女中誓詞」、蓮池藩主の子どもが生まれるときの準備を記録した「御産所入御祝一件帳」など、お城の中でのしきたりや儀礼の様子をゆっくり読み解きます。お家流で書かれた読みやすいものです。

応用編コース1「古文書に見る鍋島直正の藩政改革」(全8回・定員42名)

対 象 中級編を修了した方、または同程度学ばれた方

講 師 伊藤昭弘 氏(佐賀大学地域学歴史文化研究センター 准教授)

開催日 6月から翌年2月までの第1土曜日(1月は休み)

時 間 13時30分～15時

内 容

テキストは「天保九年 請御意」です。佐賀藩十代藩主鍋島直正は、藩政改革の一環として御仕組所という最高議決機関を設けました。様々な部署から御仕組所へ上申された議題の記録は「請御意」と呼ばれました。「請御意」には藩政や財政の状況から一般の武士や庶民の様子まで幅広く記されています。直正の家督相続から九年後の天保九年。当時の御仕組所にはどのような問題が持ち込まれ、藩の上層部はどのように対応したのでしょうか。一つずつ読み解きながら、直正の藩政改革の実像に迫ってみませんか。

応用編コース2「書簡から見る古川松根と文人たち」(全9回・定員42名)

対 象 中級編を修了した方、または同程度学ばれた方

講 師 三ツ松誠氏(佐賀大学地域学歴史文化研究センター 講師)

開催日 5月から翌年2月までの第2土曜日(11月は休み)

時 間 13時30分～15時

内 容

昨年に引き続き幕末佐賀藩を代表する文人古川松根を取り上げます。松根は十代藩主直正の死去に伴い殉死しましたが、書画に優れ、和歌サークル小車社の中心人物でした。今年度は幕末の中央歌壇と松根との関係がテーマです。加納諸平や近藤芳樹、長澤伴雄といった当時の大物出版者との書簡を読み解き、中央歌壇に対する松根の熱意がどのようなものだったのかを探ります。歴史だけでなく文学が好きな方にお勧めの講座です。ぜひ御参加ください！



古文書講座単位認定者向けの講座 実践編

- *実践編の受講回数が少ない方を優先の上抽選となります
- *応用編コースと併せて申し込むことができます
- *講座で作成した解説文は、他の講座テキストとともに当館所蔵資料として公開します

実践編コース1佐賀藩の有明海史料を読む(全9回・定員15名)

対 象 古文書講座の単位認定証を受けられた方

講 師 伊藤彰子氏(久留米大学非常勤講師)

開催日 5月から翌年2月までの第3土曜日(8/15は休み)

時 間 13時30分～15時

内 容

諫早家文庫の「諫早日記」がテキストです。

江戸時代の有明海は佐賀・諫早・島原など沿岸地域の漁業者が複雑に入り込む海域でした。海を舞台に人々はどのように生業を立てて暮らしていたのでしょうか。諫早領の前海(泉水海)に関する史料から読み解いていきたいと思ひます。

講座の進め方

参加者が分担して解説文を作り、輪読します。

解説文は1人1回1ページです

先生が解説文の書き方や読み方を丁寧に教えてくれます

初めての方も安心して御参加ください！



昨年の講座の様子

実践編コース2「自主勉強会応援講座」(全10回・定員4グループ)

対 象 実践編の受講経験者を含む自主勉強会(会員2名以上)

講 師 永松亨氏(佐賀郷土史料研究会 代表)

開催日 5月から翌2月までの第4土曜日

時 間 13時30分～15時

内 容

古文書の自主勉強会でどうしても読めない字や意味が分からない部分はありませんか。

この講座では、講師と参加者が一緒に考え、答えを探ります。また、解説について情報を交換しあうことで各グループの活動がより円滑になるよう支援します。

*当日の参加は最大12名として各会で出席者の人数調整をお願いします

*自主勉強会に加入したい方、新しく会を立ち上げたい方はお気軽にご相談ください

申込み方法

* 当館2階カウンターにてお申し込みください。

* 郵送、ファックス、メールでも受け付けます。

初級・中級・応用編で、申込みができる講座は1つです。

(応用編と実践編は併せて申し込むことができます)

申込期間

4月1日(水)～12日(日) 郵送は12日の消印まで有効

申込み先



佐賀県立図書館 資料課郷土調査担当

[郵送]〒840-0041 佐賀市城内2丁目1番41号

[FAX]0952-25-7049

[メール]saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp

問合せ

佐賀県立図書館 資料課郷土調査担当

[電話]0952-24-2900(17時まで)



*** 応募の結果は おそくとも**

4月28日(火)までに

郵送でお知らせします *

